

備陽史探訪の会築城400年記念事業 シンポジウム福山城

官民挙げての福山築城400年記念事業に賛同し、幣会設立の趣旨に沿い、記念事業として、福山城の歴史、構造などを解明するシンポジウムを、福山城築城400年記念事業実行委員会と共催で開催します。2021年まで毎年1回開催し、福山城の真の姿に迫ります。

第2回「神辺城の謎に迫る」

主催 備陽史探訪の会

共催 福山城築城400年記念事業実行委員会

築城400年を迎える福山城、多くの謎が残っています。今回は県内外の城郭研究者を招き、福山城の前身である神辺城の真の姿を解明し、福山城にあったとされる「神辺櫓」が果たして神辺城から移されたものであるかどうかを検討し、福山城の真の姿に迫る材料とする。

開催要項

- (1) 実施日 令和元年10月26日（土曜日）
- (2) 時間 午後1時～4時半
- (2) 会場 神辺文化会館小ホール
- (3) 構成

【1部】講演（持ち時間30分）

- 「神辺城の歴史」 田口義之（備陽史探訪の会会長）
- 「神辺城跡の発掘調査」 山県元（元広島県教育委員会）
- 「神辺一番櫓」 菅波哲郎（神辺宿文化研究会）
- 「近世初頭の城郭建築」 佐藤大規（広島大学総合博物館学芸職員）

【2部】公開討論会（1時間）

- (4) 参加費 無料
- (5) 募集人数 200名